

一、上下水道課

日 程	令和6年3月6日（水）
会 場	第2会議室
開 会	午前9時01分～午前9時42分
出席委員	高橋 満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦 敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	嶋田課長、関補佐、佐々木補佐、嶋田主席主査、三浦主任
No.	質疑応答の概要
1	一般会計 なし 温泉事業特別会計 なし 水道事業会計 P28 古くなった水道管路の更新状況は。 ☐ 答 管路の更新にはストックマネジメント計画の策定が必要であり、現在は、人口減少等を考慮しながら具体的な計画を作成する前段階である。 下水道事業会計
2	P21 流動資産の未収金の概要は。 ☐ 答 企業会計は3月31日で閉鎖されるが、会計閉鎖後に3月分の使用料を納める方がいるため、約半分は4、5月頃までに回収できると見込まれる。残りは、長期滞納者の未収金分である。
3	P27 町内で一番古い下水道管路は。 ☐ 答 釜谷地区の管路であり、農業集落排水のモデル事業として町内で一番最初に事業を開始してから約35年経過している。

一、建設課

日 程	令和6年3月6日（水）
会 場	第2会議室
開 会	午前9時58分～午前10時39分
出席委員	高橋 満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦 敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	児玉課長、近藤補佐、野呂田補佐、高橋係長、木村主席主査
No.	質疑応答の概要
4	P147 住宅リフォーム助成事業補助金について、新制度である災害復旧工事に対する支援は、見舞金や町以外からの災害復旧に係る補助金が交付されている場合でも受取ることとはできるか。 答 当該補助金の交付要件を満たしていれば受取ることができる。また、災害復旧工事への助成は、1年度1回までとするが、従来の住宅リフォーム補助金との併用申請は可能である。
5	P149 一般補修工事について、重点的に行うものは。 答 自治会からの要望が多い、側溝の改良工事である。
6	P153 町営住宅の空き状況は。 答 令和6年3月1日時点で、236戸中25戸が空いている。一番空きが多いのは新八竜住宅で9戸、次いで萱刈沢住宅5戸、八竜東住宅4戸である。また、萱刈沢住宅5戸のうち3戸は、国・県からの要請により、令和6年能登半島地震における被災者の移住受入先として確保している。
7	P153 耐用年数が過ぎた住宅の利活用や家賃設定は。 答 町営住宅長寿命化計画改定業務により調査を行った上で、修繕・解体・建替などの検討をする。耐用年数が過ぎている住宅についても利用可能と判断され、居住の希望があればそのまま使用してもらう。家賃については、公営住宅法に則り低所得者に低廉な家賃で提供しているため、これまでの家賃設定を継続する。
8	P153 町営住宅は、近隣市町村へ進出してきた企業の労働者へ、居住先として貸出することは可能か。 答 三種町へ住民登録するなど、入居条件を満たしていれば入居可能である。
9	P153 町営住宅の活用について、検討委員会等を設置する予定は。 答 検討委員会の設置は考えていないが、庁内において関係課との調整は行う必要があると考えている。

一、商工観光交流課

日 程	令和6年3月6日（水）
会 場	第2会議室
開 会	午前10時52分～午前11時31分
出席委員	高橋 満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦 敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	清水課長、川村補佐、笹村補佐、田中係長、近藤係長
No.	質疑応答の概要
1 0	P41 ふるさと元気づくり基金の用途は。 [答] 地域雇用創出推進事業費補助金、釜谷浜海水浴場管理業務及び地域活性化イベント事業補助金に充当している。
1 1	P139 企業誘致推進事業について、旅費の内訳は。 [答] 能代山本関東圏企業懇談会及び秋田県企業誘致推進協議会の首都圏懇談会への旅費である。
1 2	P139 ゆめろんの穀殻ボイラーの効果は。 [答] 灯油のみ利用した場合と比べ、年間300万円程度の灯油代が節減できている。
1 3	P145 サンドクラフト補助金について、令和6年度は日程を2日間から1日へ短縮するとのことだが、予算額はほぼ変わらないのか。 [答] 物価や人件費の高騰により、例年と同規模の予算では2日間の開催は困難であると判断したものである。
1 4	P145 あきた白神DMO負担金に関連して、SNSの閲覧数が伸びていないのでは。 [答] 町の情報発信について力を入れるよう事務局に要望する。

一、農業委員会事務局

日 程	令和6年3月6日（水）
会 場	第2会議室
開 会	午前11時37分～午前11時42分
出席委員	高橋 満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦 敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	見上事務局長、岡係長、寺沢専門員
No.	質疑応答の概要
	なし

一、農林課

日 程	令和 6 年 3 月 6 日（水）
会 場	第 2 会議室
開 会	午後 1 時 0 0 分～午後 1 時 5 8 分
出席委員	高橋 満（委員長）、畠山勝巳（副委員長）、 三浦 敦、成田光一、荒谷要伸
欠席委員	なし
説 明 員	小玉課長、平塚補佐、岩谷補佐、大高係長、伊藤係長
No.	質疑応答の概要
1 5	P21・135 森林環境譲与税の用途は。 〔答〕 森林の航空レーザ測量を実施するための秋田県森林情報デジタル化推進事業負担金 7 6 5 万円に充当する。
1 6	P27 天瀬川大型ハウス使用料について、これまで保険料と同額であったものを変更するのか。 〔答〕 令和 6 年度からは、固定資産評価額を基にした額に変更するため、条例の改正案を本定例会に提出している。
1 7	P127 金仏梅公園管理業務について、増額理由は。 〔答〕 最低賃金の引上げによる労務費の上昇が主な要因である。
1 8	P129 地域でまもる高性能機械導入支援事業補助金の詳細は。 〔答〕 農地・水活動組織及び中山間組織の 7 1 組織を対象に、主に高性能草刈り機など、農地の維持管理に伴う機械の導入について、機械購入費用の半額（上限 1 0 0 万円）を補助するものである。なお、1 組織 1 回までとする。
1 9	P129 復田対策推進支援事業費補助金の内容は。 〔答〕 3 0 h a 以上を経営する農家を対象に、復田に使用する畦塗り機や均平機の購入について、半額助成するものである。
2 0	P133 せいぶ館の管理方法は。 〔答〕 芦崎自治会に指定管理を打診しているが、指定管理者を確保できず、現在も町が管理を行っている。
2 1	P133 せいぶ館の利用状況は。 〔答〕 自治会や土地改良区関係者のほか、剣道等のスポーツ少年団も利用している。
2 2	P133 林業振興協議会の委員数は。 〔答〕 琴丘地域 3 人、山本地域 3 人、八竜地域 2 人の計 8 人である。
2 3	P135 ナラ枯れによる被害木の状況は。 〔答〕 令和 2 年度に被害が爆発的に増加したが、以降はほぼ横ばいである。被害区域は、石倉山から下岩川地区が多い。

一、付帯意見の協議

本分科会に付託された事件を審査した結果、意見は付けないこととする。

上記会議の次第を記載し、その相違ないことを証明するためにここに署名する。

産業建設分科会委員長 高 橋 満